案件に対する議員の態度

【各会派の名称と人数】
自…自由民主党創政会（10人）　チ…チャレンジ調布２１（７人）　公…公明党（５人）
共…日本共産党（４人）　元…元気派市民の会（１人）　生…生活者ネットワーク（１人）

第３回定例会

※市長提出議案第76号は９月２日、その他の案件は９月23日に議決しました。

〈態度の分かれた市長提出議案〉

○…賛成　×…反対　議…議長（採決には加わらない）

議案番号等	件名	結果	自 田中久和	自 鈴木宗貴	自 鮎川有祐	自 伊藤学	自 大須賀浩裕	自 狩野明彦	自 小林充夫	自 林明裕	自 元木勇	自 渡辺進二郎	チ 川畑英樹	チ 丸田絵美	チ 井上耕志	チ 榊原登志子	チ 清水仁恵	チ 広瀬美知子	チ 宮本和実	公 小林市之	公 平野充	公 須山妙子	公 橘正俊	公 内藤美貴子	共 雨宮幸男	共 井樋匡利	共 岸本直子	共 武藤千里	元 大河巳渡子	生 二宮陽子
77	平成27年度調布市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

〈満場一致で認定・可決した市長提出議案〉

76	専決処分の承認について（平成28年度調布市一般会計補正予算（第２号））	89	調布市立学校学校医，学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例
78	平成27年度調布市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	90	調布市ふれあいの家条例の一部を改正する条例
79	平成27年度調布市用地特別会計歳入歳出決算の認定について	91	調布市子ども発達センター条例の一部を改正する条例
80	平成27年度調布市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	92	調布市高齢者福祉推進協議会条例の一部を改正する条例
81	平成27年度調布市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	93	調布市国民健康保険条例の一部を改正する条例
82	平成27年度調布市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	94	市道路線の廃止について
83	平成28年度調布市一般会計補正予算（第３号）	95	市道路線の廃止について
84	平成28年度調布市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	96	市道路線の一部廃止について
85	平成28年度調布市下水道事業特別会計補正予算（第１号）	97	権利の放棄について（学童クラブ育成料）
86	平成28年度調布市介護保険事業特別会計補正予算（第１号）	98	権利の放棄について（介護保険サービス自己負担金）
87	平成28年度調布市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	99	調布市教育委員会委員の任命について（川原　和哉氏）
88	調布市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	100	調布市教育委員会委員の任命について（福山　めぐみ氏）

〈議員提出議案〉

○…賛成　×…反対　議…議長（採決には加わらない）

議案番号等	件名	結果	自 田中久和	自 鈴木宗貴	自 鮎川有祐	自 伊藤学	自 大須賀浩裕	自 狩野明彦	自 小林充夫	自 林明裕	自 元木勇	自 渡辺進二郎	チ 川畑英樹	チ 丸田絵美	チ 井上耕志	チ 榊原登志子	チ 清水仁恵	チ 広瀬美知子	チ 宮本和実	公 小林市之	公 平野充	公 須山妙子	公 橘正俊	公 内藤美貴子	共 雨宮幸男	共 井樋匡利	共 岸本直子	共 武藤千里	元 大河巳渡子	生 二宮陽子
15	朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）の核実験に対し，断固とした対応を求める意見書提出について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	私立幼稚園，小・中・高等学校就学者に対する公私間格差是正のための教育費助成と，私立幼稚園，小・中・高等学校に対する経常費補助の拡充及び教育環境整備費助成を求める意見書提出について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	チーム学校推進法の早期制定を求める意見書提出について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○
18	返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書提出について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	鉄道駅の安全対策強化を求める意見書提出について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	乳幼児・義務教育就学児への医療費助成（無料化）に対する，国庫支出金の減額措置をやめること，減額分の補填を東京都に求める意見書提出について	否決	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
21	豊洲新市場整備をめぐる重大な問題点について徹底検証を求める意見書提出について	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	利用料２割負担の拡大など介護保険の改悪に反対する意見書提出について	否決	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○

〈請願・陳情〉

○…採択　□…趣旨採択　×…不採択　△…継続審査　議…議長（採決には加わらない）

議案番号等	件名	結果	自 田中久和	自 鈴木宗貴	自 鮎川有祐	自 伊藤学	自 大須賀浩裕	自 狩野明彦	自 小林充夫	自 林明裕	自 元木勇	自 渡辺進二郎	チ 川畑英樹	チ 丸田絵美	チ 井上耕志	チ 榊原登志子	チ 清水仁恵	チ 広瀬美知子	チ 宮本和実	公 小林市之	公 平野充	公 須山妙子	公 橘正俊	公 内藤美貴子	共 雨宮幸男	共 井樋匡利	共 岸本直子	共 武藤千里	元 大河巳渡子	生 二宮陽子
陳66	調布市における，バランスのとれた受動喫煙防止対策を求める陳情	継続審査	△	△	議	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
陳67	京王多摩川駅前の葬儀場立地に関する陳情	趣旨採択	□	□	議	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
陳68	原山通りへの高木植栽を求める陳情	趣旨採択	□	□	議	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
陳69	地球１個で生活できる調布市の実現を求める陳情	趣旨採択	□	□	議	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

〈市長報告〉

報10	専決処分の報告について（市が管理する点検口のふたの瑕疵（かし）により人身に損害を与えた事故について、損害賠償額が決定したもの）
報11	専決処分の報告について（事業用地の管理の瑕疵により物件に損害を与えた事故について、損害賠償額が決定したもの）
報12	健全化判断比率等について（平成27年度の各指標とも早期健全化基準等を下回っており、財政収支が不均衡な状況などは認められなかった。）

平成27年度一般会計決算に対する討論

９月23日の本会議で、各会派が次のとおり討論を行いました。
採決の結果、起立多数で認定しました。

反対＝元気派市民の会

本決算は歳入・歳出ともに過去最高額で実質単年度収支は３年連続黒字だが、行革等の財政構造が改善された結果とは言えず、引き続き財政構造の改善が必要な状況に変わりない。前年度繰越金を活用した基金積み立ては評価するが、公共施設の改修資金不足による公共サービスの低下はあってはならない。財源に余裕があるから積み立てるのではなく、当初予算から一定額の積み立てを見積もるべき。決算には駅前地下駐輪場整備費もあるが、駐輪場整備方針は一転三転し最終的に地下化になったが、財源の制約から地下になったとの説明は自治体の政策判断として疑問。市民の負担感が少ない地上設置を再検討すべきだった。地方創生の交付金も含まれるが、中央集権的政策は自治に反する。社会保障充実のための消費税増税分の使途の明確化と自治の原点に立った努力を。

賛成＝チャレンジ調布21

市制施行60周年の節目の年で修正基本計画初年度。重点プロジェクトを初め諸施策を着実に前進させ、市民の安全確保と市民生活支援等の継続的取り組みを評価。歳入では、法人市民税が好調で実質単年度収支が３年連続プラス。市税収納率向上を評価。歳出では、28年４月発生の熊本地震で多くの方が被災したことを教訓に、予測できない自然災害への備えの充実が重要、引き続き市民の安全・安心の確保のため、自助・共助・公助による防災対策、地域防災力向上の取り組みを要望。ひとり親世帯等の子ども学習・相談支援事業の取り組みを高く評価。学校施設の老朽化対策に今後も計画的取り組みを要望。27年７月発生の小型航空機墜落事故で被害を受けられた方々に寄り添った対応、生活再建支援資金の貸し付け制度を評価。飛行場への不安と不満の解消を都に要望。

賛成＝公明党

消費税率が８％となり27年度の消費税交付金のうち引き上げ分約24億５千万円については社会保障のみに充てられていることが明記された。基金積立金の増加を評価。学校等公共施設老朽化に対応するため財政基盤の強化に努められたい。市制施行60周年を記念して行われた「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」の今後に期待。３課が横断的に連携し取り組んだ「ひとり親世帯の子ども学習・相談支援事業」は市政運営の可能性を広げた点を評価、連携のかなめを明確にすることを要望。色覚障害に対応した防災マップの全戸配布など女性や災害弱者に配慮した災害対策を評価。認知症対策推進員の配置等高齢者や障害者の暮らしを支える体制が整備された。認可保育園５カ所の新設は評価、引き続き開設誘致を求む。今後も一層市民に寄り添った支援を要望。

賛成＝日本共産党

27年度一般会計決算は歳入で約926億４千万円、歳出は約868億４千万円で、実質収支は約54億円と標準財政規模の11％と高い水準を確保。これは市税の減収分を大きく上回る地方消費税交付金の約50億円の大幅増によるもの。その結果、単年度収支は赤字となったが、実質単年度収支は３年連続黒字を維持している。市民税は堅調に推移しているが、引き続き財政規律を堅持し、着実な財政運営に努めるよう要望。約50億円の繰越金を各種基金への積み立て財源、とりわけ公共施設整備基金に重点配分したことを評価。修正基本計画初年度の予算執行は、生活支援、安全・安心など市民の暮らしに力点を置き、おおむね適正に執行されたと評価。各常任委員会では決算審査に入る冒頭、各部長から総括的な発言があった。各部の１年間の取り組みが包括的に把握できる発言として評価。

賛成＝生活者ネットワーク

歳入総額が前年度と比較して５％増の約926億円となり、財政調整基金に約11億円など、基金全体で約60億円を積み増したことを評価。今後、公共施設の維持保全や中心市街地整備が見込まれるため、さらなる積み増しを。市の行政評価は、自己評価となっているため、第三者や市民が評価することで、客観的な視点で市政運営の改善を図るべき。アウトリーチなど積極的な情報公開で、市政運営に興味を持たれるような取り組みを。老朽化した学校設備の改修などの整備を評価。子ども・若者支援事業「ここあ」での取り組みは、３課による連携や貧困支援対策として評価。地域福祉コーディネーターの増員は評価するが、全地域へ配置を。鉄道敷地跡地西端の公園整備は、市民参加と協働で実現することを要望。わかりやすい情報提供と市民の声を反映させたまちづくりを。

平成27年度歳入歳出決算総括表

会計	歳入総額	歳出総額	差引残額
一般会計	926億4,362万6,902円	868億3,945万7,045円	58億　416万9,857円
国民健康保険事業特別会計	248億7,541万5,926円	247億7,770万2,555円	9,771万3,371円
用地特別会計	3億1,788万9,450円	3億1,788万9,450円	0円
下水道事業特別会計	31億2,986万2,331円	30億9,964万3,419円	3,021万8,912円
介護保険事業特別会計	140億5,986万9,250円	135億4,111万4,406円	5億1,875万4,844円
後期高齢者医療特別会計	44億6,861万4,327円	44億4,485万4,388円	2,375万9,939円
総計	1,394億9,527万8,186円	1,330億2,066万1,263円	64億7,461万6,923円

●討論の本文中、「年」及び「年度」については「平成」を表記していません。

●討論の本文中、「年」及び「年度」については「平成」を表記していません。